

講演・鼎談 ていだん

障害者の 表現活動の 可能性

令和4年

7月24日(日)

開場 13:30 開会 14:00 (終了予定 16:00)

会場 山梨県立図書館1階イベントスペース

定員 120名 参加無料



講演

鼎談



竹内正直

山梨県障害者福祉協会理事長
長く障害者福祉の向上に取り組むとともに、文芸誌の創刊など詩作活動も続けている。



田中千晶

山梨県ボッチャ協会副会長
病気で車いす生活に。ボッチャ競技を続けながら、県障害者文化展では、絵画部門で2年連続知事賞を受賞。



伊藤美輝

山梨学院短期大学教授、山梨・人ねっこネットワーク代表
造形教育を専門とし、障害者の表現活動支援にも取り組む。美術家としてもドローイングや版画による作品を発表している。



金田一秀穂

言語学者
杏林大学名誉教授
平成30年4月から山梨県立図書館長。
『金田一秀穂の心地よい日本語』他、著書多数。

パラリンピックを契機に障害や障害者に対する理解や関心が深まっています。こうした流れを共生社会の実現につなげていくためには、障害者の側からの情報発信も必要だといわれています。情報発信には、言語だけでなく、スポーツ等の身体活動や、絵画や書道、手芸、工芸などの創作活動などさまざまな手法があり、ひとり一人が自分に合った方法で自己を表現して発信することはとても大切なことです。
この鼎談は、表現活動の新たな可能性について考える機会となるものです。



山梨県立
図書館

YAMANASHI
PREFECTURAL
LIBRARY

2022 新図書館10周年

申込：事前申し込み、先着 120名 受付開始 7月5日(火)～

《県立図書館窓口、電話、ファクシミリにて受け付けます。》

《申込の際、氏名、住所(市町村名のみ)、連絡先をお知らせください。》

※手話通訳、要約筆記が必要な方は、申し込みの際にお申し出ください。

※図書館駐車場は1時間まで無料です。(障害者手帳等の提示で駐車料金は免除になります。)

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止になる場合があります。

※マスクの着用、体温チェック、手指消毒等の感染症対策にご協力ください。